

2026年6月30日
株式会社日立ハイテク

日立ハイテク、オランダにオープンイノベーションを加速する開発拠点「Innovation Center Eindhoven」を開設

アカデミア・ディープテック企業とのコラボレーションで、フィジカルAIなどの先進AIを組み合わせたデジタルイズドアセットを創出し、HMAX Industryにより半導体分野を中心にグローバルに産業を革新



High Tech Campus Eindhoven の航空写真

株式会社日立ハイテク(以下、日立ハイテク)は、High Tech Campus Eindhoven*¹(オランダ王国、以下、ハイテクキャンパス)内に、半導体計測・検査関連を中心とした技術開発に取り組む開発拠点「Innovation Center Eindhoven」(以下、本拠点)を2026年7月に開設します。ハイテクキャンパスは、先端半導体関連技術の集積地として、300社・12,500人以上が集結した技術・製品の開発を行う欧州最大規模のオープンイノベーション拠点です。本拠点では、現地のアカデミアやディープテック企業*²とのオープンイノベーションにより、技術開発に取り組みます。開発した技術の原理検証から価値検証までをワンストップで実施できる環境が整ったハイテクキャンパスでのオープンイノベーションによって、新技術の製品化および市場投入までの期間短縮を実現します。これにより、お客さまのニーズに合わせた新技術とフィジカルAIをはじめとする先進AIを組み合わせた革新的なデジタルイズドアセットを創出し、HMAX Industryにより半導体分野を中心にグローバルに産業を革新していきます。

*¹ <https://hightechcampus.com/>

*² ディープテック(Deep Technology)企業：社会課題を解決して人々の生活や社会に大きなインパクトを与える科学的な発見や革新的な技術を生かしてビジネスを行う企業

背景

現在、AIの急速な普及によりデータ通信量は増加しており、データセンターや基地局への積極的な設備投資が行われています。さらにEV(電気自動車)や自動運転技術など自動車関連向けにおいて、現実世界で機能するフィジカルAI

の実装が進むなど、半導体デバイスの需要は広がっており、今後も半導体関連市場は成長・拡大することが見込まれています。市場の成長とともに、継続的な技術革新が必須であり、半導体の微細化・立体化・積層化が進む中、これら技術革新に対応するための複雑な課題の解決が求められています。

本拠点開設の経緯・概要

日立ハイテクは、こうした複雑化する半導体メーカーのお客さまの技術課題解決に向け、アカデミア・企業など外部パートナーとの連携強化による研究開発を進めています。その一環として、日立ハイテクのコア技術である電子線技術に関する研究をデルフト工科大学*3 やオランダ応用科学研究機構*4 をはじめとしたパートナーと進めてきました。研究成果の製品への実装に関するさまざまな検討を進める中、日立ハイテクの製品開発から生産までのプロセスにおける Lab to Fab*5 加速により、お客さまへ迅速に価値を提供するため、本拠点開設に至りました。ハイテクキャンパスの電子線や半導体に関する豊富な知見とオープンイノベーションの文化により、スピーディーで革新的な開発、市場投入までの期間(Time to Market)や量産開始までの期間短縮の実現をめざします。本拠点は Hitachi High-Tech Europe GmbH を中心に運営し、現地のスタッフも採用しながら、開発中の技術だけでなく、さまざまな開発を積極的に進めていきます。さらに、今後はオランダを中心に欧州各地域におけるアカデミア・ディープテック企業とのコラボレーションを拡大していきます。

日立のコネクティブインダストリーズ(CI)セクターインダストリアルソリューションビジネスユニットに所属する日立ハイテクでは、プロダクトの豊富なインストールベース(デジタルライズドアセット)のデータにドメインナレッジと先進 AI を組み合わせた次世代ソリューション群「HMAX Industry」に注力しています。フィジカル AI のリーディングカンパニーをめざし、これらをコアとする「インダストリアルソリューション」の提供を通じて、お客さまのライフタイムバリューを最大化し、グローバルに産業を変革することで、豊かな社会の実現をめざします。

*3 <https://www.tudelft.nl/en/>

*4 <https://www.tno.nl/en/>

*5 Lab to Fab : R&D から量産を一貫支援し、開発から市場投入までの期間(Time to Market)短縮などの価値を創出する事業モデル

代表者コメントは以下の通りです。

High Tech Campus Eindhoven, CEO, Otto van den Boogaard

High Tech Campus Eindhoven に Hitachi High-Tech Europe GmbH をお迎えできることを大変光栄に思います。同社の参画により、半導体バリューチェーンにおける主要な研究機関および産業パートナーとの新たな協業の機会が創出されます。

日立ハイテク 専務執行役員 兼 ナノテクノロジーソリューション事業統括本部長 小室 修

本拠点「Innovation Center Eindhoven」の開設は、技術革新の加速と、お客さま価値のさらなる向上に向けた重要な一歩です。欧州有数のオープンイノベーション拠点である High Tech Campus Eindhoven において、アカデミアやディープテック企業との連携により、当社コア技術の強化と先進 AI を組み合わせたデジタルライズドアセットの創出を加速していきます。

日立ハイテク 執行役員 兼 Hitachi High-Tech Europe GmbH 社長 松風 和良

当社はこれまでも欧州地区での開発力強化を図るべく、ドイツ、ベルギーを中心に投資してきました。グローバルで多様な人財が集まる欧州で新たな拠点をアイントフォーヘンに開設することによりお客さまへのソリューション提案力が強化され、共に発展出来る環境がより整うことを嬉しく思います。

日立ハイテク 半導体製造装置に関する Web サイト

<https://www.hitachi-hightech.com/jp/ja/products/semiconductor-manufacturing/>

Hitachi High-Tech Europe GmbH に関する Web サイト

<https://www.hitachi-hightech.com/eu/en/>

商標注記

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

日立ハイテクについて

日立ハイテクは、持続可能な地球環境、健康で安心・安全な暮らし、科学と産業の持続的発展に貢献するため、「知る力で、世界を、未来を変えていく」という企業ビジョンを掲げ、社会やお客さまに最先端の技術や製品・サービスを提供しています。ヘルスケア分野における医用分析装置、バイオ関連製品、放射線治療システム、半導体分野における半導体製造・検査装置のほか、環境分野や材料の研究などで用いられる分析装置、解析装置を製造・販売しています。また、電池、通信インフラ、鉄道検測、デジタルなどの産業・社会インフラ分野で高付加価値ソリューションを提供するなど、幅広い事業領域でグローバルに事業を展開しています。私たちは、社会やお客さまの真の課題を正しく知り、解決策を提供し続けることで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。(2026年3月期日立ハイテクグループ連結売上収益は8,217億円)

詳しくは、日立ハイテクの Web サイト(<https://www.hitachi-hightech.com/jp/ja/>)をご覧ください。

お問い合わせ先

株式会社日立ハイテク

ナノテクノロジーソリューション事業統括本部

[問い合わせフォーム](#)